

広島大学病院 がん医療従事者研修会

広島大学病院では、がん診療の質の向上及び専門的な知識の普及を目的とし、がん医療に携わる医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を以下のとおり開催いたします。

(座長) 広島大学病院 がん化学療法科 教授 杉山 一彦 先生

講演

「これから始まるがん治療革命 ～令和元年6月「がんゲノム医療」が ついに保険診療に！～」

広島大学病院 遺伝子診療部 特任教授

檜井 孝夫 先生

DNA二重らせん構造の発見から半世紀たった2003年、約31億塩基配列を解読したヒトゲノム計画が終わりました。当時10年の歳月と3000億円のコストを要しましたが、次世代シーケンサーの出現により、今では10万円(約1000ドル)で解読可能な「1000ドルゲノム」の時代になりました。この技術革新により「がん関連遺伝子」200種類を網羅的に解析できる「遺伝子パネル検査」が令和元年6月から保険適用となりました。一人一人の患者さんのがんの原因となるドライバー遺伝子を同定し、それに対する分子標的薬を使った個別化治療が可能な時代になりました。「がんゲノム医療」の概略、広島大学病院での「がんゲノム医療」体制構築ならびに今後の展望について、わかりやすく解説したいと思います。



講師紹介

1989年 広島大学医学部卒、広島大学第二外科入局
1994-1998年 広島大学大学院(第一生化学教室)
1998-2006年 ミシガン大学医学部 博士研究員(Division of Molecular Medicine & Genetics)
2010年 広島大学消化器・移植外科 講師
2014年 広島大学消化器・移植外科 診療准教授
2015年 呉医療センター・中国がんセンター 外科医長・分子腫瘍研究室長
2019年 現職

開催日時 ▶ 2019年7月9日(火)18:30～

開催場所 ▶ 広島大学病院 臨床管理棟3階 大会議室

〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号

参加申込は、広島大学病院医療支援グループへお知らせください。

☎ : byo-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp Fax: 082-257-1720 Tel: 082-257-5934

(主催)

広島大学病院 (都道府県がん診療連携拠点病院) 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム/広島大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン